



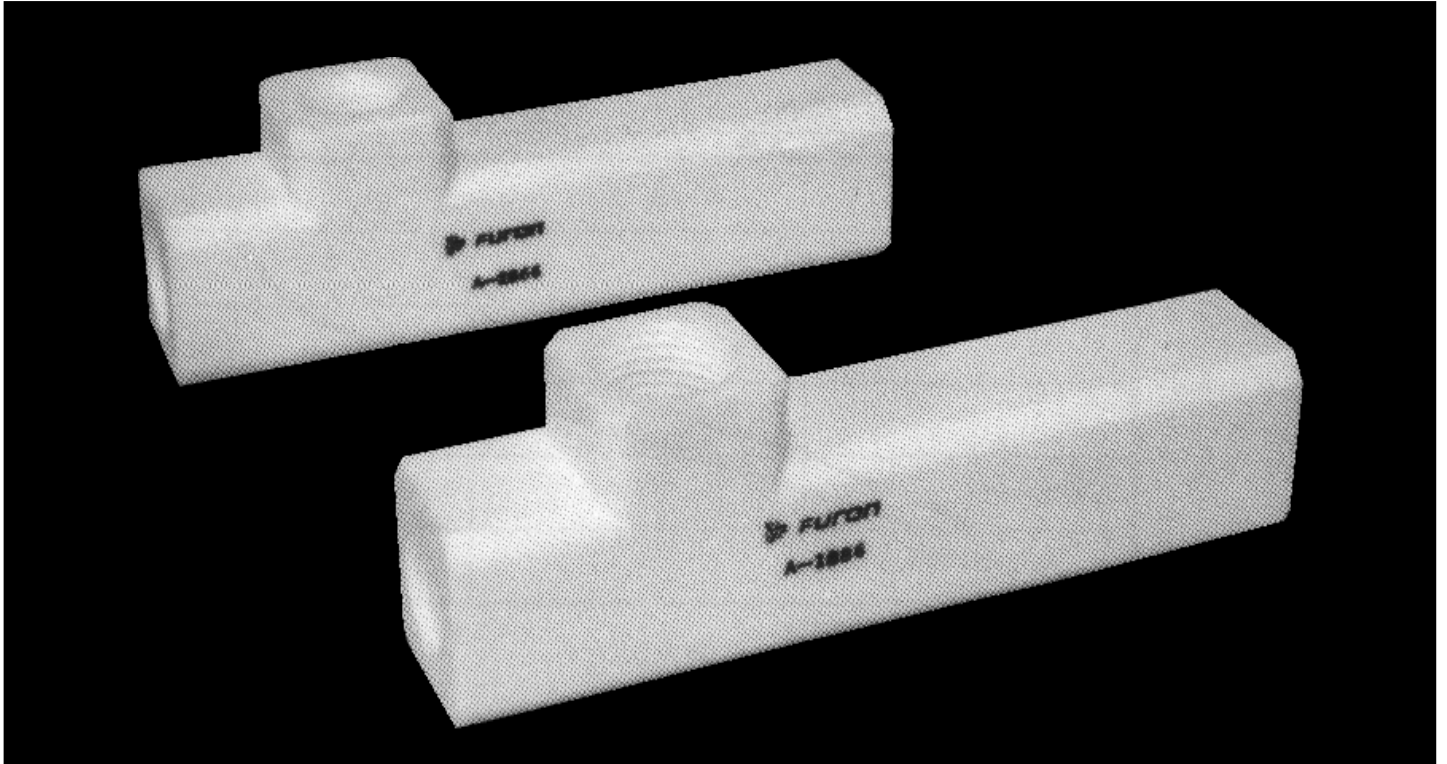
テフロン® アスピレータ



JAPAN
APPLIED
TECHNOLOGY

SAINT-GOBAIN
PERFORMANCE PLISTICS

水圧動作型・空気圧動作型



サンゴバン社のアスピレータは小型ながらポンプ機能を有し、水圧動作型と空気圧動作型の2つの動作形態があります。

水圧動作型アスピレータは0.07~0.35MPaの加圧された純水あるいは市水を利用して、酸類など危険性の高い液体を混合しながら吸引します。液の希釈・冷却・排液の目的に使用します。

空気圧動作型アスピレータは加圧されたエアーを利用して、危険性の高い液体を希釈せずに吸引します。液の高い位置への移送や排出目的に使用します。

気体動作のため、他の物質が混入しませんので液の再利用ができます。

■特 長

100%テフロン……耐薬品性はもとより、200以上の耐熱性があります。

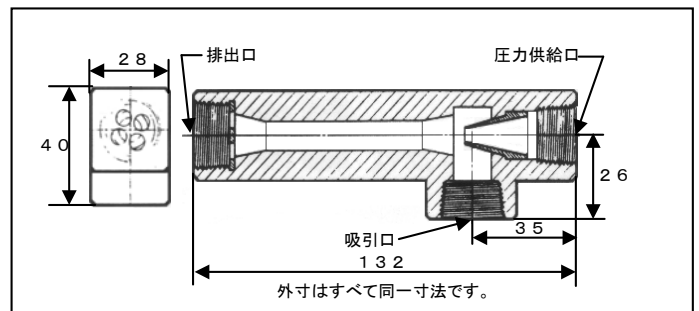
ボディー体型……外部リークはなく、故障ありません。

多用途……液の攪拌混合や腐食性ガスの廃棄など応用性に富んでいます。

■仕 様

動作形態	型 式	圧力供給口	吸 引 口	排 出 口
水圧動作型	A-1866	3/8" NPTメネジ	3/8" NPTメネジ	1/2" NPTメネジ
	A-1886		1/2" NPTメネジ	

■寸法・構造 (mm)



テフロン®はデュポンと三井デュポンフロロケミカル㈱の製品を示す登録商標です。

Japan Applied Technology Inc. Tokyo. Japan

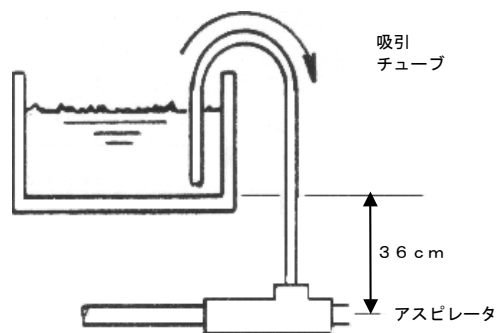
■テスト例

サイフォン現象を利用して最大流量を得るには0.21MPaの空気圧を5～10秒かけた後止めます。

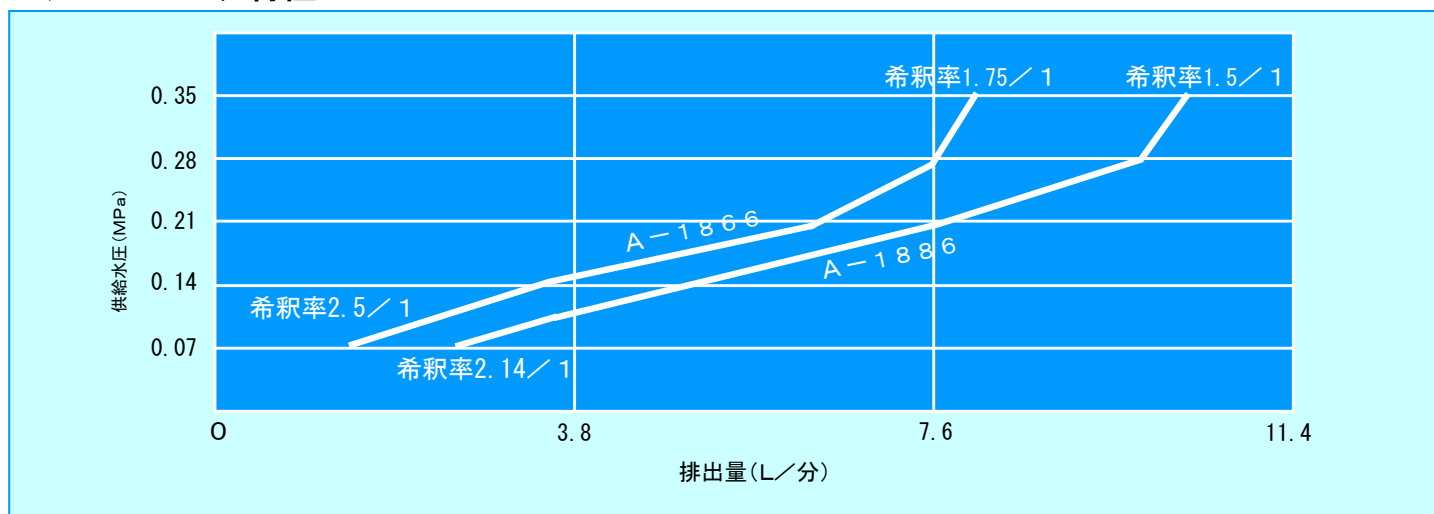
空気圧力	到達真空度	排出量
0.14MPa	38.1mmHg	1.9L/分
0.21MPa	63.5mmHg	2.9L/分
0.28MPa	101.6mmHg	3.8L/分
0.35MPa	127.0mmHg	3.8L/分
0.42MPa	152.4mmHg	3.8L/分

■取付例

下図のように使用する場合は、アスピレータをチューブ先端の吸引点より36cm程低く設置すると効果的です。



■アスピレータ特性



■応用例

